

お前のことを

お前のことをうたひたいのだ
室の真中に立つたままである
とほうにくれてあるやうなお前のごことが
私の心をとらへてあるのだ

こちらを見てごらん 私の方を
暗いあたりでなく 窓の方を
荷物を置いてこちらへやつて来てごらん
だまつてゐないで話しかけてごらん

お前の首すじのあたりの感じが
よびかけさせたのだ
鹿のやうにおとなしいお前

床を足音もたてないで歩きはじめて
ああ どこへ行つてしまはうとするのだ
壁を抜けて どこへ お前は行つてしまふのだ